

「奈良美智展」は弘前に何を残したか？

煉瓦倉庫が美術館に生まれ変わる大きなきっかけとなった三度の展示会の軌跡を資料でたどり、思考をめぐらせ、未来へとつなげるドキュメント展

弘前れんが倉庫美術館 2022年度 展示会 [秋冬プログラム]

奈良美智展弘前2002-2006ドキュメント展

もしもし、奈良さんの展示会はできませんか？

Hirosaki Museum of Contemporary Art
2022 Exhibition [Autumn/Winter]
"Hello, How Can't We Do a Nara Yoshitomo Show?"
Documents on Nara Yoshitomo's Hirosaki Exhibitions 2002-2006
Sat, September 17, 2022 – Tue, March 21, 2023

弘前れんが倉庫美術館

2022年9月17日(土) - 2023年3月21日(火・祝)





…みんなががんばってオープンした直後は花が咲いてお花見をする感じ。そして、花は必ず散るように、会期があるから展覧会も終わる。でも、終わった後は、種とかいろんなものをみんなが落とすんじゃないかな。…花が咲く背景には、土に還って養分となったたくさんの葉っぱがある。
——奈良美智の言葉より（「A to Z 奈良美智+グラフィ」フォイル、2006年）

本展では、美術館になる前の煉瓦倉庫で開催された、弘前市出身の現代美術家・奈良美智（1959-）による三度の展覧会の軌跡を、さまざまな資料、写真や映像で振り返ります。

1988年に渡独した奈良は、海外での活動も積極的に行う中で2000年に帰国します。翌年から国内初の本格的な個展「I DON'T MIND, IF YOU FORGET ME.」が全国を巡回し、2002年には煉瓦倉庫を会場として開催されました。これを契機として、続く二つの展覧会「From the Depth of My Drawer」（2005年）、「YOSHITOMO NARA + graf A to Z」（2006年）が煉瓦倉庫で開かれました。

タイトル「もしもし、奈良さんの展覧会はできませんか?」は、当時の煉瓦倉庫のオーナー・吉井千代子（吉井酒造株式会社社長）が、奈良の作品に強く惹かれ、自分の倉庫で展示をしたいとギャラリーに問い合わせたというエピソードにちなんでいます。この一本の電話が、吉井と奈良の出会いにつながり、煉瓦倉庫での奈良美智展が実現しました。

弘前での最初の奈良美智展から20年を迎える今年、煉瓦倉庫と地域との関係性において重要な意味を持つ、この三度の展覧会にあらためて光をあてます。当時の印刷物やグッズ、記録映像などの資料、展覧会準備の様子や展示風景を撮影した、写真家の永野雅子と細川葉子による写真で構成します。また、過去に出展された奈良美智の作品も一部展示します。全体の空間構成は、過去の弘前での展示のグラフィックを手がけた山本誠が担当します。弘前での「奈良美智展」というひとつの事例から、地域とアート、そしてそこに関わる人々について、考えをめぐらせるための場の創出を目指します。

弘前れんが倉庫美術館 2022年度 展覧会【秋冬プログラム】

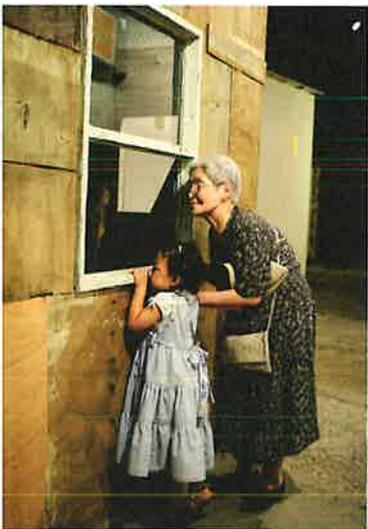
「もしもし、奈良さんの展覧会はできませんか?」

奈良美智展弘前2002-2006ドキュメント展
2022年9月17日(土) - 2023年3月21日(火・祝)



奈良美智（なら・よしとも）
1959年、青森県弘前市生まれ。現在、栃木県那須塩原市を拠点に活動している。見つめ返すような瞳の人物像が印象的な絵画、日々生み出されるドローイング作品のほか、木、FRP、陶、ブロンズなどの素材の立体作品や小屋形のインスタレーション作品の制作でも知られる。ヨーロッパ、アメリカ、日本、そしてアジア各地のさまざまな場所で発表を続けている。

「奈良美智展」は弘前に何を残したか?



主催：弘前れんが倉庫美術館 特別協賛：スターツコーポレーション株式会社
協賛：株式会社大林組 協力：奈良美智、NPO harappa
後援：東奥日報社、デーリー東北新聞社、陸奥新報社、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、エフエム青森、FMアップルウェブ、弘前市教育委員会

休館日：火曜日 *ただし3月21日(火・祝)は開館 *12月26日(月)~1月1日(日)は休館
開館時間：9:00~17:00 (入場は閉館の30分前まで)
観覧料【税込】：一般1,300円(1,200円)、大学生・専門学校生1,000円(900円)
*()内は20名様以上の団体料金
*以下の方は無料：高校生以下の方、弘前市内の留学生の方、満65歳以上の弘前市民の方、ひろさき多子家族応援バスポートをご持参の方、障がいのある方と付添いの方1名
Closed: Tuesdays (except on Mar. 21, 2023) and from Dec. 26, 2022 to Jan. 1, 2023.
Opening hours: 9:00-17:00 (Last admission 30 minutes before closing)
Admission (tax included): Adults 1,300yen (1,200yen), University & College Students 1,000yen (900yen) * () Price for a group over 20 people * Free of charge for high school students and under; international students in Hirosaki city; citizens of Hirosaki over 65; the disabled and one accompanying attendant



10 撮影：1-5=永野雅子 6-10=細川葉子

交通アクセス
青森空港より：車約60分/弘南バス（弘前バスターミナル行）約55分
「弘前駅前」下車
JR東北新幹線 新青森駅より：JR奥羽本線 約40分「弘前駅」下車
JR弘前駅より：車約7分/徒歩約20分/弘南バス・土手町循環100円バス 約9分「蓬萊橋」下車、徒歩約5分
*当館に駐車場はございません。お車の方は近隣の有料駐車場をご利用ください。
*観覧料割引駐車場：2名様まで100円引きになります。
土手町駐車場、アウトエア弘前、したとてスカイパーク、三井のリパーク弘前桶屋町、三井のリパーク弘前桶屋町第2
From Aomori Airport: 60 minutes by car / Take the Konan Bus to the "Hirosaki station" (app. 55 min.)
From JR Ou Main Line "JR-Shin-Aomori Station": To the "JR Hirosaki Station" (app. 40 min.)
From JR Hirosaki Station: 7 minutes by car / 20 minutes on foot / Take the Konan Bus to the "Horai-Bashi" stop (app. 9 min) and walk 5 minutes

アクセス
詳細はこちら



【弘前エクステンジ#05「ナラヒロ」*】
弘前ゆかりのアーティスト、クリエイター、研究者らに注目し、ワークショップやイベントを通じて異なる視点が交差・交換される場を生み出すことを目指すプログラム「弘前エクステンジ」。本展と関連する弘前エクステンジ#05では、地域の人々がもつ当時の記憶や思い出をリサーチ/記録する試みをはじめ、参加型の様々な企画を通して、三度の「奈良美智展」と弘前の街のかかわりから生まれた創造性を考察します。
*当時のボランティアの間での「奈良美智展 弘前」の略称

【学芸スタッフによるギャラリーツアー】
会期中月2回程度 11:00-11:30 *要観覧券
*日程やその他関連イベント詳細は当館ウェブサイト等でご確認ください。

【青森をアートでたどるプロジェクト】 同時期に開催
原高史 (AOMORI MAPPINK MEMORY「記憶の未来」)
2022年9月14日(水)-11月13日(日) 主催：青森県
弘前れんが倉庫美術館から弘南鉄道弘南線沿線にも出かけてみよう! ピンク色の限定列車が街を彩りながら走ります。特別な冊子付きの1日乗車券で巡るアート体験。 <https://aomori-art.jp>

弘前れんが倉庫美術館
〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1
Tel: 0172-32-8950 www.hirosaki-moca.jp
Hirosaki Museum of Contemporary Art
2-1 Yoshino-cho, Hirosaki City, Aomori, 036-8188 Japan
Tel: +81-172-32-8950 www.hirosaki-moca.jp

弘前れんが倉庫美術館